

大和市教育委員会 9 月定例会

日 時 令和 2 年 9 月 2 9 日

午前 1 0 時 0 0 分

場 所 教育委員会室

1 開 会

2 会 議 時 間 の 決 定

3 前 会 会 議 録 の 承 認

4 会 議 録 署 名 委 員 の 決 定

5 教 育 長 の 報 告

6 議 事

日程第 1 (議案第 4 5 号) 大和市教育委員会表彰規程の一部を改正する規程について

日程第 2 (議案第 4 6 号) 令和 3 年度大和市公立学校県費負担教職員人事異動方針
について

7 そ の 他

8 閉 会

議案第45号

大和市教育委員会表彰規程の一部を改正する規程について

大和市教育委員会表彰規程の一部を改正する規程について、審議願いたく提案する。

令和2年9月29日提出

大和市教育委員会

教育長 柿本 隆夫

大和市教育委員会告示第 号

大和市教育委員会表彰規程の一部を改正する規程

大和市教育委員会表彰規程（昭和55年大和市教育委員会告示第14号）の一部を次のように改正する。

第1条の見出しを「（趣旨）」に改め、同条中「大和市教育委員会（以下「委員会」という。）所管の」を「本市の教育の振興等に貢献し、又は教育上他の模範となった」に、「ことを目的」を「もの」に改める。

第2条中「1」を「いずれか」に改め、同条第1号中「若しくは」を「又は」に改め、同条第3号中「委員会」を「大和市教育委員会」に改める。

第3条を次のように改める。

（大和市教育委員会表彰候補者審査会）

第3条 この規程による表彰の対象となる候補者を選定するため、大和市教育委員会表彰候補者審査会（次項において「審査会」という。）を置く。

2 審査会の組織、運営等については、教育長が別に定める。

附 則

この規程は、公表の日から施行する。

大和市教育委員会表彰規程新旧対照表

(下線部分は、改正部分)

改正案	現行
<p>(趣旨)</p> <p>第1条 この規程は、<u>本市の教育の振興等に貢献し、又は教育上他の模範となった団体及び個人の功労を表彰することに関し必要な事項を定めるものとする。</u></p> <p>(表彰の対象)</p> <p>第2条 表彰は、次の各号の<u>いずれかに</u>該当するものに対して行う。</p> <p>(1) 学校教育又は社会教育の振興、研究<u>又は改善</u>に努め、特にその功労が顕著なもの</p> <p>(2) 略</p> <p>(3) その他表彰に値すると<u>大和市教育委員会</u>が認めたもの</p> <p>(大和市教育委員会表彰候補者審査会)</p> <p>第3条 <u>この規程による表彰の対象となる候補者を選定するため、大和市教育委員会表彰候補者審査会(次項において「審査会」という。)を置く。</u></p> <p><u>2 審査会の組織、運営等については、教育長が別に定める。</u></p>	<p>(目的)</p> <p>第1条 この規程は、<u>大和市教育委員会(以下「委員会」という。)</u>所管の団体及び個人の功労を表彰することに関し必要な事項を定めることを目的とする。</p> <p>(表彰の対象)</p> <p>第2条 表彰は、次の各号の<u>1</u>に該当するものに対して行う。</p> <p>(1) 学校教育又は社会教育の振興、研究<u>若しくは改善</u>に努め、特にその功労が顕著なもの</p> <p>(2) 略</p> <p>(3) その他表彰に値すると<u>委員会</u>が認めたもの</p> <p>(被表彰者の決定)</p> <p>第3条 <u>被表彰者は、大和市教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則(昭和40年教育委員会規則第1号)第2条第1項第13号に基づき、教育委員会の会議に付して決定する。</u></p>

議案第46号

令和3年度大和市公立学校県費負担教職員人事異動方針について

令和3年度大和市公立学校県費負担教職員人事異動方針について、審議願いたく提案する。

令和2年9月29日提出

大和市教育委員会

教育長 柿本隆夫

令和3年度大和市公立学校県費負担教職員人事異動方針

大和市教育委員会

大和市教育委員会は、学校の組織としての能力を高めるとともに、教職員の意欲と専門性の向上を図るため、また、教職員の世代交代が円滑に進むよう、人事異動にあたっては、次の事項を基本方針とし、関係機関の協力のもとに教職員の適正な配置に努めるものとする。

【基本方針】

1. 組織力の向上を図る。

本市教育の活性化を図り、教育効果を高めるため、積極的に転任及び配置換えを行い、教職員組織の充実と均衡化に努め、魅力ある学校づくりの推進と学校の組織力の向上を図る。

2. 人材育成を推進する。

世代交代が進み、教職員の年齢構成等が変わりつつある中、全市的な視野に立った人事異動により、一人ひとりの教職員が多様な経験を積み、組織内での自らの役割を意識し、意欲的に力を発揮できるよう、人材育成を推進する。

令和2年度教職員人事概要

◎ 令和2年5月1日現在の教職員数（定数）

小学校：708人

中学校：369人 計 1,077人

1. 総括教諭・教諭の男女・年齢別【正規職員のみ（産休・育休者含む）】（令和2年5月1日現在）

年齢		30歳以下	31～40歳	41～50歳	51～60歳	計	男女の比率
小学校	男	69	93	35	6	203	36.3%
	女	134	134	54	34	356	63.7%
	計	203	227	89	40	559	100.0%
	率	36.3%	40.6%	15.9%	7.2%	100.0%	—
中学校	男	46	68	14	13	141	56.2%
	女	36	30	10	34	110	43.8%
	計	82	98	24	47	251	100.0%
	率	32.7%	39.0%	9.6%	18.7%	100.0%	—

※再任用は含まない。

2. 同一校多年勤務者数（総括教諭・教諭）（令和3年3月31日見込）

	10年以上	9年	8年	計	割合
小学校	3	9	25	37人	6.6%
中学校	3	8	13	24人	9.6%

3. 令和元年度末異動状況（教職員）

		小学校	中学校	計
辞職		21	17	38
転出	県内	5	2	11
	県外	4	0	
管理職異動		17	4	21
市内配置換		52	16	68
転入		10	2	12
新採用	男	11	9	52
	女	25	7	
計		145	57	202

4. 新採用教職員数の推移（教諭、養護教諭、事務職員、栄養職員を含む）

年度	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2
小学校	34	40	48	44	29	30	36	37	40	36
中学校	18	14	19	18	13	13	15	22	19	16
計	52	54	67	62	42	43	51	59	59	52

5. 再任用教職員数の推移

年 度		2 3	2 4	2 5	2 6	2 7	2 8	2 9	3 0	1	2
小 学 校	教 諭	3 5	3 8	4 0	4 2	3 3	2 8	2 5	2 2	2 4	2 3
	養護教諭	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0
	栄養職員	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0
	事務職員	0	0	0	3	4	6	4	3	2	2
中 学 校	教 諭	1 5	2 4	2 8	2 5	2 0	2 3	2 0	1 7	2 2	2 6
	養護教諭	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
	栄養職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	事務職員	1	0	0	0	0	1	1	1	2	1
合 計		5 1	6 2	6 9	7 0	5 7	5 8	5 2	4 7	5 1	5 4

6. 児童・生徒・教職員数等の推移

(各年度 5月1日現在)

年度	小 学 校				中 学 校			
	学校数 (校)	児童数 (人)	学級数 (C)	教職員 数 (人)	学校数 (校)	生徒数 (人)	学級数 (C)	教職員 数 (人)
2 3	1 9	11,797	417	636	9	5,634	177	353
2 4	1 9	11,582	422	650	9	5,756	179	362
2 5	1 9	11,534	422	650	9	5,733	184	373
2 6	1 9	11,504	424	658	9	5,587	177	365
2 7	1 9	11,628	435	659	9	5,517	175	360
2 8	1 9	11,618	434	663	9	5,467	174	356
2 9	1 9	11,729	440	664	9	5,432	175	363
3 0	1 9	11,880	445	678	9	5,305	176	359
1	1 9	11,799	446	695	9	5,338	177	365
2	1 9	11,926	458	708	9	5,359	183	369

7. 令和2年度学年別児童・生徒数

(令和2年5月1日現在)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援	計
小学校	1,922	1,823	1,884	1,928	1,854	2,040	475	11,926
中学校	1,742	1,767	1,688				162	5,359

大和市奨学生のアンケート結果について

学校教育課では、例年、大和市奨学金を給付され、本年 3 月に高等学校を卒業された方（奨学生本人及びその保護者）を対象に郵送によるアンケート調査を実施しており、集計ができましたので、ご報告いたします。

1. 実施日

- ・令和 2 年6月25日（木）

2. 発送、返送人数

- ・発送件数:22人
- ・返送件数:8人 回収率:36.3%

3. 主な意見

- ・ひとり親のため奨学金があり助かりました。申請した時の気持ちと変わらず、4年制大学に進学しました。大学も奨学金を借りてとなりましたが、子どもにとっても進学への希望がかなり良かったです。ありがとうございました。
- ・3年間奨学金を受けることができ、大変ありがたかったです。無事大学にも合格し、現在も意欲的に勉強しています。
- ・奨学金を受けられる『条件』があったので、本人にとって、励みと誇りに繋がりました。高校の先生からも『優秀』として書類を提出してもらえ、高校との信頼にもつながり自信が付いたようです。学用品費として本人に渡そうと思いましたが、結局一度も受け取らず、全て学費にあてさせていただきます。
- ・3年間助けて頂きありがとうございました。本人も勉学、部活動に一生懸命取り組むことができました。経済的な心配をさせずに、勉強に打ち込ませてあげられ、親としても本当に良かったです。
- ・高校生になり、子ども手当がなくなり、教科書代や通学交通費が増加する中、大変助かりました。今後も多くのご家庭の支えとなる支援をお願いします。
- ・公立高校とはいえ、教材費や定期代に思った以上に費用がかかりましたので、奨学金はとてもありがたかったです。本人も三年間前向きに努力していました。目標とする大学を絞ったため、浪人生となりましたが、頑張っているところです。

大和市学校教育基本計画に基づく 令和元年度学校評価アンケート

その他報告

令和2年9月29日

※各学校の自己評価

基本目標		施策の方向	具体的な内容例	評価	小	中	指導室 分析	
基本目標 1	子ども一人ひとりの学びを保障し、確かな学力を育てます	1	基礎的・基本的な知識及び技能の習得と活用を重視した教育を推進します	・少人数学級、少人数(TT)指導 ・SA、学習支援ボランティアの活用 ・授業改善	A・・・ B・・・ C・・・ D・・・	7 12 0 0	5 4 0 0	基礎的な知識技能の習得について、個別の支援や授業改善により一定程度の成果が出ている。支援を必要とする児童生徒の増加・多様化に対応していくことが課題となっている。今後さらに集団指導の授業改善と、個別支援に向けた資源の有効活用について検討していく。
		2	「主体的・対話的で深い学び」の視点から学習過程を改善し、質の高い学びを実現する取り組みを推進します	・指導と評価の一体化 ・校内研究 ・ICT機器の活用 ・調べる学習(探究的活動) ・学習における新聞の活用	A・・・ B・・・ C・・・ D・・・	6 13 0 0	3 6 0 0	校内研究を中心に、「主体的・対話的で深い学び」の視点での授業改善が進められている。ICT機器の活用についてはGIGAスクールによる一人一台端末の実現により今後加速していく。より質の高い学びの実現に向けて、指導室・教育研究所で連携し計画的に学校を支援していく。調べる学習、新聞の活用については研修等とおして学校に働きかける。
		3	学習に対して困難をかかえる子どもに適した教育を推進します	・外国人児童生徒に対する支援 ・(特別)支援教育 ・児童支援中核教諭 ・SC、SSW、相談員	A・・・ B・・・ C・・・ D・・・	8 11 0 0	6 3 0 0	学校では、支援を必要とする児童生徒の個々の状況を把握し、家庭との連絡を密に取り支援計画を立てるとともに、児童支援中核教諭や教育相談コーディネーターを中心に校内で情報共有しチームで支援する体制ができている。
		4	今日的な教育課題に対応した授業に向けて研究・研修を深めます	・校内研修 ・プログラミング教育	A・・・ B・・・ C・・・ D・・・	2 17 0 0	2 7 0 0	校内研修について、研究委託による校内研究、指導室訪問研修、教育研究所主催研修以外の研修時間の設定に学校が苦慮している様子が窺える。プログラミング教育については新学習指導要領全面実施に向けた準備の一環として研究している段階である。指導室としては、教育課程の中で適切に位置づけ実践できるよう支援していく。
		5	学びを支える教育環境整備を進めます	・教材、教具の工夫(ICT機器含む) ・校務支援システムの活用	A・・・ B・・・ C・・・ D・・・	3 16 0 0	1 8 0 0	小学校では電子黒板や実物投影機は教科書ノートと同様に当たり前に活用されており、他の教材教具も含め、さらに活用の工夫を継続している。中学校では、R元年度から電子黒板機能付きプロジェクターが導入されており、今後小学校の実践を踏まえ活用を推進していく。校務支援システムの活用も浸透しており、業務の効率化が図られているが、帳票等の確認作業の徹底も必要である。

大和市学校教育基本計画に基づく 令和元年度学校評価アンケート

その他報告

令和2年9月29日

※各学校の自己評価

基本目標		施策の方向	具体的な内容例	評価	小	中	指導室 分析
基本目標 2	様々な体験を通し、豊かな感性を育みます	1 想像力を豊かにする読書活動を推進します	<ul style="list-style-type: none"> ・読書活動 ・朝読書、読み聞かせ ・学校図書館の活用 ・図書館教育の推進 	A・・・ B・・・ C・・・ D・・・	8 11 0 0	5 4 0 0	読書活動については各学校で積極的な取り組みが行われている。学校司書が大きな役割を果たすとともに、授業での学校図書館の活用など学校全体の取組が促進されている。今後は、読書冊数の少ない児童生徒に対する働きかけ、放課後の活用等さらに推進していきたい。
		2 感受性を育て、表現する力を養う教育を推進します	<ul style="list-style-type: none"> ・芸術鑑賞 ・福祉体験 ・日本の伝統文化に触れる授業 ・給食時間を活用したコミュニケーション 	A・・・ B・・・ C・・・ D・・・	1 18 0 0	2 7 0 0	音楽・演劇・古典芸能の鑑賞や、白杖や手話の体験などを毎年実施していく中で子どもたちの感性を育てる工夫がされている。給食時間には異学年との交流給食や、校内放送などによりコミュニケーションを図っている。芸術鑑賞、福祉体験のための補助を継続していきたい。
		3 様々な体験学習の機会を提供します	<ul style="list-style-type: none"> ・体験活動 ・キャリア教育 ・職場体験、職業講話等 ・自然体験学習 	A・・・ B・・・ C・・・ D・・・	5 14 0 0	6 3 0 0	小中学校ともに、授業の中で地域に出ていく活動や地域の方を学校に招いての活動を積極的に行っている。また、様々な教科で、体験的な活動を授業の中に取り入れる工夫をし、子どもたちの関心を高めている。学校支援ボランティアバンクの推奨や、放課後事業での取り組みについて今後検討していきたい。

大和市学校教育基本計画に基づく 令和元年度学校評価アンケート

その他報告

令和2年9月29日

※各学校の自己評価

基本目標		施策の方向	具体的な内容例	評価	小	中	指導室 分析
基本目標 3	安心安全な環境を整え、健康な感性を育みます	1 心身ともに健康に生活を送るための、健康教育を推進します	<ul style="list-style-type: none"> ・健康の保持増進 ・体力、運動能力の向上 ・教員が子どもと向き合う活動 ・教育相談 	A・・・ B・・・ C・・・ D・・・	8 11 0 0	5 4 0 0	学校では健康、体力向上について体育・保健体育の授業を中心に年間を通して指導するとともに、歯磨き指導、薬物乱用防止教室等の実施や、手洗い等の衛生指導も日常的に行っている。また、休み時間等を活用したレクや体育委員会の企画、球技大会の実施など各校で工夫している。子どもと向き合うために授業中や休み時間の観察や声かけに加え、アンケートや教育相談も有効に活用している。児童生徒対応について研修を継続していきたい。
		2 健康な心身のための、食育を推進します	<ul style="list-style-type: none"> ・食育 	A・・・ B・・・ C・・・ D・・・	2 17 0 0	2 6 1 0	学校では、家庭科や社会科(食糧生産)の授業での指導に加え、栄養教諭や栄養士による指導により栄養のバランスと健康について関心を高めるよう努めている。引き続き、研修・情報提供に努めていきたい。
		3 命を守る、安全教育を推進します	<ul style="list-style-type: none"> ・命の授業 ・安全・防災教育 ・情報モラル教育 ・登下校の安全、パトロール ・PSメール ・防災計画の改善 	A・・・ B・・・ C・・・ D・・・	7 12 0 0	2 7 0 0	道徳をはじめとする授業の中で、自分や他者の命の大切さについて学ぶとともに、助産師による「やまといのちの教室」、交通安全教室、携帯電話教室、避難訓練等を実施し安全防災教育に努めている。大和市子ども見守り隊の皆さんの協力を得ながら、教職員も登下校の安全指導に努めている。指導室では、大和市学校防災マニュアルを基に研修を行い、各学校の防災計画の改善を支援していきたい。
		4 安全安心で、子どもが落ち着いて学べる学校の環境づくりを進めます	<ul style="list-style-type: none"> ・教室環境の整備・美化 ・学校施設の維持管理 ・学校安全計画、危機管理マニュアル 	A・・・ B・・・ C・・・ D・・・	6 12 1 0	2 7 0 0	教職員による学校施設の定期的な安全点検を行い、教室環境の整備、施設の維持に努めるとともに、日常的な清掃活動の中で校舎の美化に努めている。校舎の老朽化に伴う施設設備の補修等については、今後の課題である。

大和市学校教育基本計画に基づく 令和元年度学校評価アンケート

その他報告

令和2年9月29日

※各学校の自己評価

基本目標		施策の方向	具体的な内容例	評価	小	中	指導室 分析	
基本目標4	多様性を尊重し、他者とともに生きる社会性を育てます	1	いじめのない学校生活に向けた取り組みを進めます	<ul style="list-style-type: none"> いじめ対策 hyper-QUの活用 	A・・・ B・・・ C・・・ D・・・	6 13 0 0	3 6 0 0	教員が日常的に児童生徒の様子を見取り気になる児童生徒への声掛けなどの対応を行っている。加えて、教育相談やアンケートなどを基に丁寧な対応をしている。またhyper-QUの結果をもとに学年で情報共有しつつ客観的な視点で学級経営を見直している。指導室として、今後も継続的に訪問研修等を行い、いじめの未然防止、早期対応・解消にむけて支援していきたい。
		2	不登校のない、だれもが通いたくなる学校作りを進めます	<ul style="list-style-type: none"> 不登校対策 	A・・・ B・・・ C・・・ D・・・	9 9 1 0	3 6 0 0	あたたかな学級、人間関係作りやわかりやすい授業づくりを行い、不登校の未然防止に努めるとともに、学校での様子や欠席状況を注視し早期対応に努めている。すでに不登校状態の児童生徒に対しては、家庭との連絡を密にするとともに担任が家庭訪問したり、別室登校で居場所づくりを行うなど個別の対応を行っている。青少年相談室、まほろば教室とも連携しながら個々の状況に応じて支援していきたい。
		3	社会性を育む道德教育を推進します	<ul style="list-style-type: none"> 異学年交流等による社会性の育成 道德教育 人権教育 教員の人権意識の向上 	A・・・ B・・・ C・・・ D・・・	3 16 0 0	3 6 0 0	道德の授業を中心に、様々な機会をとらえて道德教育を実践し、校内研究等で指導力の向上に努めている。また人権教室を実施するだけでなく、日常の言葉遣いの指導などをおして子どもたちの人権教育を実施している。教職員の人権意識をさらに向上させるため研修の充実を図りたい。
		4	社会に開かれた学校教育を推進します	<ul style="list-style-type: none"> 地域の施設等訪問、ボランティア活動 学校評価 学校評議員会 ホームページ、学校便り 地域人材力の活用 	A・・・ B・・・ C・・・ D・・・	11 8 0 0	3 6 0 0	各学校で様々な活動が行われており、地域との連携については定着してきている。保護者・地域への情報発信は学校の取組が伝わるよう様々な工夫をしている。引き続き学校評議員の御意見を参考にしながら、子どもたちの健全な育成に努めていきたい。

■令和元年度大和市文化創造拠点シリウス 指定管理者の評価

評価にあたっては、指定管理者選定時の審査項目をもとに行い、令和2年8月24日に文化創造拠点等運営審議会からの意見聴取を行いました。

【総合評価】

平成28年11月3日に文化創造拠点シリウスが開館して以来、令和2年1月21日には非常に早期に累計来館者数が1000万人に到達しました。このことは、全国の複合型公共施設の中でも例を見ない実績であり、指定管理者により管理運営されるシリウスが多くの市民に評価されている証といえます。

また、令和元年度は、各地区学習センター及び渋谷図書館が新たに指定管理施設となり、市内全ての図書館、学習センターを一体的に運営するための体制が出来上がりました。シリウスは、市内の全図書館、全学習センターの中心施設としての機能を発揮し、市域全体に及ぶ各施設の運営を円滑に行うにあたり、大きな貢献をしました。

令和2年度は新型コロナウイルスの感染拡大の影響から、様々な困難が予測され、新しい形での講座やイベント等の取り組みが必要となります。指定管理者には、市と連携し様々な課題に取り組み、健康都市を標榜する本市の文化芸術の発信拠点として、さらなる発展につながる取り組みを進めることを期待します。

【個別評価】

指定管理者選定の審査項目に対する評価は、概ね事業計画書どおりの水準でした。評価の視点1～4に基づく評価結果は、以下のとおりです。

評価の視点1：施設を利用する人に対し、平等な利用の確保及びサービスの向上が図られたか。

- ・施設見学会に加え、「アートマネジメント講座」を実施するなど、催事内容にあわせた利用者へのきめ細やかな支援体制を構築しているところを評価します。(やまと芸術文化ホール)
- ・芸術鑑賞事業において、一流アーティストを招聘し、幅広い世代が楽しめる公演を実施するとともに、アーティストと市民の交流を通して、市民が文化芸術をより身近に感じ、楽しく学ぶことができる機会を提供しています。(やまと芸術文化ホール)
- ・新型コロナウイルス感染拡大の影響が見えない中で、慎重かつ無理のない運営を心がけてほしい。特に、舞台技術等に関する専門知識が乏しい利用者へのサポートを徹底してほしい。(やまと芸術文化ホール)
- ・利用者にとって利用しやすい環境を整備するために行った閉架書架の整理作業については、指定管理期間にとらわれない長期的な視点から行われた対応であり、利用者サービス向上に直接つながることから高く評価します。(市立図書館)
- ・レファレンスサービスは図書館の基幹業務であり、利用者満足に直結するサービスであることから、利用促進のため周知を継続するとともに、担当スタッフの知識習得やスキル向上を図ることを期待します。(市立図書館)

- ・市内の学習センター施設全館共通のテーマで講座等が実施されることを希望します。(生涯学習センター)
- ・保育室の利用者数について、目標値への未到達及び利用者数が大幅に減少しているため、利用率向上のための取り組みを検討してください。(屋内こども広場)
- ・市外利用者が多い傾向にあるため、効果的な事業の周知方法や実施手法を検討するなど、市民の利用促進につながる取り組みを検討してください。(屋内こども広場)

評価の視点2:施設の効用が最大限に発揮された事業運営が行われたか。

- ・市民の人材育成に取り組む等、自治体の芸術文化ホールとして期待される役割を十分に理解した方針が示され、効果的な事業展開が行われました。(やまと芸術文化ホール)
- ・空き会議室を活用して積極的に学習室開放を行い、利用者の学習需要に寄与しました。(生涯学習センター)
- ・新型コロナウイルスによる休館の影響はあるものの、積極的なイベント企画により、平成30年度と比較すると各月の利用者数は増加傾向にあったことを評価します。(屋内こども広場)
- ・複合施設であることの特性や利点を意識し、積極的な全体融合事業及び複数施設間の連携事業が実施されたことが高く評価できます。また、今年度は令和元年、市政60周年、シリウス来館者1000万人達成といった、節目となる出来事が多く、それらに対する文化創造拠点一体となった取り組みが展開されたことも高く評価します。
- ・文化創造拠点及び関連施設を含む関連7館の連携の象徴として全施設を包括したポータルサイトが開設されたことを高く評価します。

評価の視点3:施設の適切な維持及び管理が行われたか。

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、清掃業務等については引き続き徹底されることを期待します。

評価の視点4:施設に管理を安定して行う人員、資産その他の経営の規模及び能力を有しているか。

- ・文化創造拠点の統括責任者を中心に構成施設の各責任者による「館長会議」が定期的開催され、課題の共有等が適切になされていました。
- ・研修体制を引き続き充実させ、文化創造拠点以外の指定管理施設のスタッフも含め、均質な利用者サービスが展開されるよう希望します。
- ・責任のある立場の者の不在期間が生じないように求めます。(屋内こども広場)

■令和元年度大和市立中央林間図書館 指定管理者の評価

評価にあたっては、指定管理者選定の審査項目をもとに行い、令和2年8月24日に文化創造拠点等運営審議会からの意見聴取を行いました。

【総合評価】

開館から2年目を迎え、安定した運営が行われており、特段の問題は発生していません。また、市北部における読書活動の拠点として、駅至近の商業施設内に立地する特色も十分に運営に生かされています。シリウスの図書館との一体的な運営を維持しつつ、小規模ながら特徴ある運営が展開されたことを高く評価します。

令和2年度は新型コロナウイルスの感染拡大の影響から、様々な困難が予測され、新しい形での講座やイベント等の取組みが必要となります。今後も、地域の市民ニーズに配慮しながら、駅至近に立地する施設特性を強みとした図書館運営に期待します。

【個別評価】

指定管理者選定の審査項目に対する評価は、概ね事業計画書どおりの水準でした。評価の視点1～4に基づく評価結果は、以下のとおりです。

評価の視点1：施設を利用する人に対し、平等な利用の確保及びサービスの向上が図られたか。

・パフォーマンス指標のうち利用者登録数以外の指標は新型コロナウイルス感染拡大の影響をふまえても目標値を下回りました。計画時の適切な目標値の設定も必要です。

評価の視点2：施設の効用が最大限に発揮された事業運営が行われたか。

・積極的に他の組織や商業施設、鉄道事業者等と連携し、特色ある事業が展開されたことを高く評価します。

評価の視点3：施設の適切な維持及び管理が行われたか。

・施設の維持及び管理が適切に行われました。

評価の視点4：施設に管理を安定して行う人員、資産その他の経営の規模及び能力を有しているか。

・運営組織については、大和市立図書館と「館長会議」等を通じて連携を深めつつ、単独館として施設の特性をよく理解した特徴ある運営体制が敷かれていました。

■令和元年度大和市北部文化・スポーツ・子育てセンター 指定管理者の評価

評価にあたっては、指定管理者選定の審査項目をもとに行い、令和2年8月24日に文化創造拠点等運営審議会からの意見聴取を行いました。

【総合評価】

北部文化・スポーツ・子育てセンターは、令和元年度に開館2年目を迎えました。開館当初若干の混乱も見られましたが、その後、安定した運営体制に移行していることが窺えます。

アリーナは、スポーツを愛好する多くの市民に利用されているほか、プレイルームや子育て支援サロンは、星の子広場と隣接していることから、子育て中の市民の居場所ともなっています。また特定の会議室を常時学習室に開放するなど、市民の学習意欲に応じた場所としても機能しています。

このように、本市北部の文化・スポーツ・子育ての拠点として市民からも認知されつつあり、指定管理者が能力を十分に発揮し、適切に運営がされた結果と考えられます。

令和2年度は新型コロナウイルスの感染拡大の影響から、様々な困難が予測され、新しい形での講座やイベント等の取組みが必要になります。今後も多様な市民ニーズを取り込み、本市北部の文化・スポーツ・子育ての拠点としてさらなる発展を図るべく、様々な取組みを進めてもらえることを期待します。

【個別評価】

指定管理者選定の審査項目に対する評価は、概ね事業計画書どおりの水準でした。評価の視点1～4に基づく評価結果は、以下のとおりです。

評価の視点1：施設を利用する人に対し、平等な利用の確保及びサービスの向上が図られたか。

・事業数、参加者数とも目標値に達しなかったのは、新型コロナ感染対策に伴う休館によるものでやむを得ないことであり、その事情を加味すれば仕様書の内容は達成されたと評価できます。

評価の視点2：施設の効用が最大限に発揮された事業運営が行われたか。

・市内の学習センター施設全館共通のテーマで講座等を実施することを希望します。

評価の視点3：施設の適切な維持及び管理が行われたか。

・施設の維持及び管理が適切に行われました。

評価の視点4：施設の管理を安定して行う人員、資産その他の経営の規模及び能力を有しているか。

・施設の管理を安定して行う人員、資産その他の経営の規模及び能力については、必要な水準を満たしているものと考えられます。

■令和元年度 つきみ野学習センター、桜丘学習センター、渋谷学習センター、渋谷図書館
指定管理者の評価

評価にあたっては、指定管理者選定の審査項目をもとに行い、令和2年8月24日に文化創造拠点等運営審議会からの意見聴取を行いました。

【総合評価】

令和元年度から各地区学習センター（つきみ野学習センター、桜丘学習センター、渋谷学習センター）及び渋谷図書館に指定管理者制度が導入されたことで、文化創造拠点シリウスを中心とする市内の全図書館、学習センターの一体的な管理運営体制が整いました。

各学習センターについては、5館連携で防災講座を行ったりするなど、先行して指定管理者制度が導入されていた各施設との連携が適切に行われ、各館とも全体的に安定した管理運営がなされたことを高く評価しています。

渋谷図書館については、多様な生活背景を持つ市民が居住する市南部地域の特性を理解した魅力ある事業が展開されていました。

令和2年度は新型コロナウイルスの感染拡大の影響から、様々な困難が予測され、新しい形での講座やイベント等の取り組みが必要になります。今後も、各施設の特性を活かし、地域に根差した施設運営が行われることを期待します。

【個別評価】

指定管理者選定の審査項目に対する評価は、概ね事業計画書どおりの水準でした。評価の視点1～4に基づく評価結果は、以下のとおりです。

評価の視点1：施設を利用する人に対し、平等な利用の確保及びサービスの向上が図られたか。
・新型コロナウイルス感染拡大以前の状況においても、目標に到達していない水準であるので、今後レファレンスサービスの周知について取り組みが進むことを期待します。（渋谷図書館）

評価の視点2：施設の効用が最大限に発揮された事業運営が行われたか。
・仕様書で示した、様々な世代や生活様式を持つ市民が居住する市南部の拠点という特性をよく理解した事業展開が行われた点を高く評価しています。（渋谷図書館）
・市内の学習センター施設共通のテーマで講座等を実施することを希望します。

評価の視点3：施設の適切な維持及び管理が行われたか。
・施設の維持及び管理が適切に行われました。

評価の視点4:施設の管理を安定して行う人員、資産その他の経営の規模及び能力を有しているか。

- ・運営組織については、市内各図書館及び各学習センター館長による「館長会議」等を通じて課題を共有し、各館の運営によく反映されており、全体的に安定した運営体制が敷かれていました。
- ・館長不在期間が発生したことは、運営管理上問題であったと思われます。(渋谷学習センター)